

株式会社 ユビテック

証券コード:6662

UBITEQ
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

UBITEQ
UBIQUITOUS TECHNOLOGY

第39期 ビジネスレポート

[2014年7月1日~2015年6月30日]



技術を活かして継続的にイノベーションを生み出せる組織へ

第39回定時株主総会において取締役、その後の取締役会において代表取締役社長に就任いたしました。当社を取り巻く経営環境は大変厳しいものと認識しておりますが、不断の努力をもって企業価値向上に努めてまいります。

前期に上場以来初の営業赤字を計上した当社グループは、経営体制を立て直すべくオリックスグループとの連携を深めるとともに、お客様との関係性強化に取り組んでまいりました。同時に事業部制へと組織を再編し、新たに執行役員による業務執行体制とするなど、意思決定の迅速化と業務効率の改善へ向けた取り組みを併せて進めてまいりました。

業績面では、ATM向け紙幣鑑別センサモジュールの販売は引き続き堅調に推移し、オリックス自動車向けテレマティクス車載機についても、前期納入予定分が当期へずれ込んだことに加え、2月より投入した新型車載機の受注が好調に推移しました。しかしながら、携帯電話市場における主要端末が従来型携帯電話端末からスマートフォンへ移行し、携帯電話端末評価の市場規模が縮小していることに加え、自社製品・サービスとして開発・販売している省エネソリューション「BE GREEN Next」、車両運行管理サービス「Be Safeシリーズ」、ビデオ会議サービス「CanSee Powered by Vidyo」の

販売は計画を大きく下回る結果となりました。

特にここ数年力を入れて開発してきた自社製品・サービスの販売不振が今後の業績に与える影響は大きく、市場動向及び当社の販売体制等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当連結会計年度において繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額90百万円を計上することいたしました。

その結果、2015年6月期の連結業績は、売上高3,227百万円(前年同期比4.1%増)、経常利益78百万円(前年同期は経常損失45百万円)、当期純損失は29百万円(前年同期は当期純損失58百万円)となりました。

ここ数年間の当社グループの業績を支えてきた、大手企業を主要顧客とするモノづくり系事業とソフトウェアの受託開発事業は底堅く推移してまいりましたが、今後、景気減速が懸念される中国経済や新興国経済の影響を受ける可能性があることに加え、市場競争の激化に伴い不透明な事業環境が予想されます。さらに多くの経営資源を投入して開発してきた自社製品・サービスの販売低迷が続いていることなどから、抜本的な経営改革を早期に行う必要があると判断いたしました。そのため、2016年6月期の業績予想については現時点では合理的に算出することが難しく開示を控え

させていただきました。

2期連続で当期純損失を計上し、2016年6月期の業績予想も非開示とさせていただいたことなどから、株主の皆様には大変なご心配をおかけしており誠に申し訳ございません。すでに当期において当社グループの経営課題は明らかになっており、従来の経営過程における反省すべき点とともに活かすべき強みも認識しております。特に当社が保有する、多様なセンサ素子の知見をもとにしたセンサ応用技術や、多拠点からネットワーク経由で送られてくる大量のデータをリアルタイムで蓄積・処理する技術、組込みシステムのセキュリティ技術などは、いずれも今後の社会において欠かすことのできない技術です。

今後、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、保有技術を活かし継続的にイノベーションを生み出せる組織へと体質改善を図ってまいります。まずは早期に新たな経営計画を策定し、役員、従業員一同全力を挙げて経営改革に取り組んでまいり所存です。何卒、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

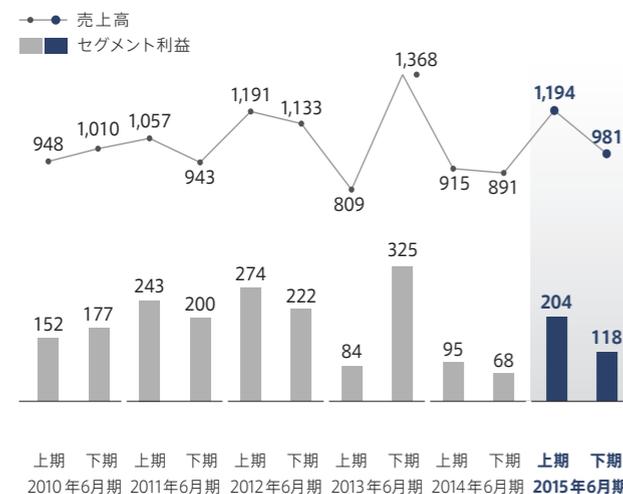
代表取締役社長 荒木 克彦



セグメント別業績

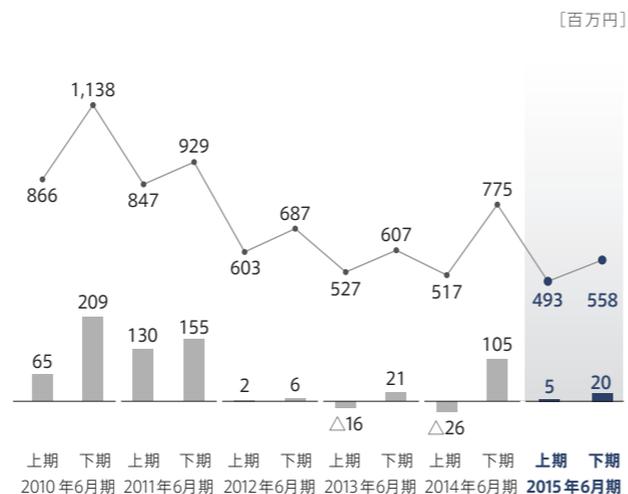
電子機器事業

電子機器事業は、ATM 向け紙幣鑑別センサモジュールが堅調に推移し、またカーソリューション事業においてオリックス自動車向けのテレマティクス車載機の売上が寄与したことにより前年同期比で増収増益となりました。この結果、当連結会計年度の売上高は2,175百万円(前年同期比8.9%増加)、セグメント利益は322百万円(前年同期比57.6%増加)となりました。



モバイル・ユビキタス事業

モバイル・ユビキタス事業については、前期から販売を開始したVidyo 会議システムソリューションの受注が増加し、また組み込み機器のセキュリティ案件に関する売上也寄与しましたが、携帯電話評価業務の売上が減少したことにより前年同期比で減収となりました。また、利益は総務省公募案件の売上総利益率が低下したことにより、前年同期比で減益となりました。この結果、当連結会計年度の売上高は1,051百万円(前年同期比4.6%減少)、セグメント利益は25百万円(前年同期比32.9%減少)となりました。



※2015年6月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。2014年6月期以前は変更前の数値で表示しています。

財務諸表

連結貸借対照表

科目	前期末 (2014年6月30日現在)	当期末 (2015年6月30日現在)
資産の部		
流動資産	3,588,091	3,640,334
現金及び預金	2,469,769	2,612,560
受取手形及び売掛金	928,297	772,707
製品	4,149	78,893
仕掛品	15,246	11,837
原材料及び貯蔵品	55,580	99,473
繰延税金資産	7,283	1,210
その他	109,132	64,146
貸倒引当金	△1,368	△496
固定資産	288,956	98,911
有形固定資産	107,572	48,272
無形固定資産	13,710	15,221
投資その他の資産	167,674	35,417
資産合計	3,877,048	3,739,246

科目	前期末 (2014年6月30日現在)	当期末 (2015年6月30日現在)
負債の部		
流動負債	425,656	356,614
固定負債	57,570	66,763
負債合計	483,227	423,377
純資産の部		
株主資本	3,304,987	3,231,701
資本金	891,132	891,132
資本剰余金	605,034	605,034
利益剰余金	1,869,540	1,796,218
自己株式	△60,720	△60,685
その他の包括利益累計額	7,037	△5,868
新株予約権	57,917	64,534
少数株主持分	23,878	25,500
純資産合計	3,393,820	3,315,868
負債純資産合計	3,877,048	3,739,246

連結損益計算書

科目	前期 (2013年7月1日~2014年6月30日)	当期 (2014年7月1日~2015年6月30日)
売上高	3,100,467	3,227,658
売上原価	2,600,839	2,721,169
売上総利益	499,628	506,488
販売費及び一般管理費	538,234	428,289
営業利益	△38,606	78,198
営業外収益	3,223	4,660
営業外費用	9,734	4,010
経常利益	△45,117	78,847
特別損失	9,059	1,041
税金等調整前当期純利益	△54,177	77,806
法人税等合計	2,909	105,878
少数株主損益調整前当期純利益	△57,086	△28,072
少数株主利益	1,849	1,558
当期純利益	△58,935	△29,630

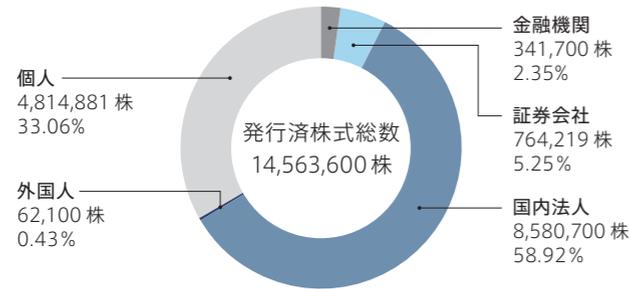
連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前期 (2013年7月1日~2014年6月30日)	当期 (2014年7月1日~2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,160	227,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	536,142	△4,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,947	△81,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	372	1,951
現金及び現金同等物の増減額	527,727	142,791
現金及び現金同等物の期首残高	742,041	1,269,769
現金及び現金同等物の期末残高	1,269,769	1,412,560

株式情報 [2015年6月30日現在]

株式の状況

発行可能株式総数	52,000,000株
発行済株式総数	14,563,600株
株主数	3,085名



大株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
オリックス株式会社	85,272	58.55%
糸谷 輝夫	3,925	2.70%
株式会社SBI証券	3,721	2.56%
土屋 延寿	2,200	1.51%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与 ESOP 信託口)	1,726	1.19%
荻野 司	1,689	1.16%
後和 信英	1,393	0.96%
日本証券金融株式会社	1,371	0.94%
梶川 悦子	1,266	0.87%
小島 祥吾	1,000	0.69%

会社情報

会社概要 [2015年6月30日現在]

商号	株式会社ユビテック Ubiteq,INC.
設立	1977年11月17日
所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田一丁目18番9号 五反田 NT ビル
資本金	891百万円
金融商品取引所	東京証券取引所(ジャスダック)
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
証券コード	6662
従業員数	123名(連結)
連結子会社	株式会社ユビテックソリューションズ UBITEQ SOLUTIONS VIETNAM,LTD.

株主メモ

事業年度
毎年7月1日から翌年6月30日までの1年間

基準日
定時株主総会、期末配当 毎年6月30日
中間配当 毎年12月31日

定時株主総会
毎年9月下旬

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(通話料無料)

公告方法
電子公告 (<http://www.ubiteq.co.jp>)
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

役員 [2015年9月18日現在]

代表取締役社長	荒木 克彦
取締役	林 雅弘
取締役	錦織 雄一
取締役	高橋 英丈
社外取締役	徳田 英幸
社外取締役	江崎 浩
常勤監査役	平田 満
社外監査役	小林 稔忠
社外監査役	与謝野 肇

執行役員 [2015年9月18日現在]

執行役員社長	荒木 克彦
常務執行役員	林 雅弘
常務執行役員	矢崎 達人
執行役員	中山 哲郎
執行役員	小林 哲郎